

の道ひとすい  
第35回 展覧名古屋の職人展  
10月19日(金)～10月21日(日)



愛知県板金工業組合  
発行 広報委員会  
名古屋市中区北山町  
3-8-6 〒466-0006  
電話 052-732-1226



毎年恒例の「第35回尾張名古屋の職人展」が名古屋市中区栄のオアシス21・NHK名古屋放送センタービル1階で開催された。今回は例年より一ヶ月遅く名古屋まつりと同じ日となった。53の

団体・個人が技能作品の展示・製作実演・即売・製作体験をした。

愛知県板金工業組合は、板金工事内容の写真展示・職人による製作実演・銅折鶴等の即売・銅板のレリーフ製作体験を実施した。

19日(金)の製作実演は山口等氏が銅製のバケツやT型の煙突等を披露した。また、社会科見学の一環

から完成させ、額に入れて持ち帰った。

20日(土)は昨年の全国建築板金競技大会に優勝した知多支部の堀井貴義氏が、平成元年以降の優勝者が参加して開催される来年の「グランドチャンピオン大会」の課題の浄瓶の作品を実演した。まだ試行中の為完成までには行かず、これからの努力・練習に期待したい。また、来場者からの質問に丁寧に説明する場面があった。

21日(日)は中川・港支部の佐々木利浩氏が来年度の全国建築板金競技大会の練習を兼ねて、課題の「片

手桶」の製作を実演した。ちなみに課題製作から一ヶ月しかたっていないが完成度は中々の物だと思ったが、本人曰く「まだまだ」との事であった。

3日間通しては、少し小さめの塵取り、はち丸くんストラップ、銅の折鶴、銅の昆虫等の販売、組合員によるアルミ缶からの折鶴製作、また、銅板のレリーフの製作実演には多くの方が「はち丸くん」等型の上に銅板をのせて木槌で叩いて製作する体験をしていただいた。

今年の職人展は、丁度いい気温に恵まれ、名古屋

屋まつりと同時開催だった為、例年より多くの来場で大盛況だった。

本田(中川・港支部)



▶ 山口氏



▶ 堀井氏



▶ 佐々木氏



▶ レリーフ体験する子供たち



▶ 板金組合プレス

知多支部

ハサミの簡易調整・刃研ぎ実演等の勉強会

知多支部は10月17日(水)午後6時30分から、(株)角建材店・半田支店にてハサミに関する勉強会を開催した。支部員20名、角建材店3名、(株)直徳より3名が参加した。

竹内竜之支部長の挨拶の後、直徳・村上和男氏より『鋏』について素材・構造等の詳しい説明があった。

鋼は含まれる元素の比率により幾つかの種類に



ハサミの説明する

村上和男氏



ハサミの調整実演する

島太一氏

分けられる。用途に応じてカクナミ(白紙一号)や柳刃(青紙二号)やハイス鋼、青紙スーパー等に分かれ切れ味や耐久性に違いがある。直徳では『ブルーギガ』の名称で史上最強と言われる鋼を使用している。どれ位の切れ味が一度試してみたい。

鋏を調整する上での知識として『鋏の切れる仕組み』の講義もあり、ね

じれ・裏スキ・刃型等の説明はプロジェクター画像を交えながら行われた。刃研ぎの角度はよく使う柳刃の場合約70〜75度が最適、大変参考になった。

続いて直徳・岩上昌義氏より『なぜ直徳のハサミが高いのか?』について説明があった。製造するに当たり素材の本質を活かす為の努力と、鍛冶屋職人の五感を大切に手造りされている。説明には職人魂を感じられた。

移動と休憩を挟み、直徳・島太一氏による『ハサミの簡易調整・刃研ぎ実演』が行われた。参加者は島氏を取り囲むようにして作業する手元に見入った。鋏の刃を目掛けハンマーを振り当てる場面には参加者からどよめきが起きた。刃研ぎは卓上グラインダーで行い刃のねじれに対し上手く対応し研ぎ仕上げた。また、参加者持参の切れの悪い鋏も見事に復活させた。質疑応答が行われ午後9時に終了した。

榎谷(知多支部)

10月度の動き

【県板】

4日 全板連・日板協 正副理事長会

7日 青年部幹事会

15日 愛知県大会

17日 三役会

17日 三役会

18日 懇談会

19日 懇談会

24日 常務理事会

24日 経営研究委員会

27日 中板協青年部

28日 中板協青年部

30日 広報委員会

30日 組合会議室

【各支部】

名古屋板金連合会

職人展出店

27日 支部長会

3日 慰安旅行

11日 第2回役員会

17日 勉強会

28日 親睦旅行

29日 親睦旅行

23日

編集後記

先日、地元新城で開催された「フォークソングフェスタ」に行ってきた。新城では毎年一回、同じ様な催しは豊橋や浜松でも数多く開催されており、私の楽しみのひとつになっている。

アマチュアバンドによる昭和のフォークソングの熱演で、出演者には友人知人も多い。「今年還暦を迎えました」「孫が3人います」「先月不整脈で病院行ってきました」等々、出演者は同じ様な世代の方々で一気に

同志の様な存在になつてしまふ。

今時の歌は何を聞いても同じに聞こえてしまうオジサン現象全開の私だが、ここでは懐かしい曲ばかり。「神田川」「なごり雪」「22歳の別れ」...。それらのメロディーが一瞬にして時をさかのぼり、古き良き時代に連れて行ってくれる。当時の色々な場面が走馬灯のごとく蘇り、少し切なさが混じった懐かしさに浸る事が出来る。「歌の力って凄いなア」とつくづく感じる一時であった。

M

十月三十日(火) 五五三号 編集会議 広報委員 四名 午後二時半開会 五時閉会

県板事務局

年末年始のお休み 日ごろは、組合事業にご協力を賜り有難うございます。 県板事務局は、12月29日(土)から1月6日(日)までお休みさせていただきます。